

## 平成 25 年度第 2 回自治体等 FM 連絡会議大阪府地域会の開催報告について

大阪府地域会代表幹事（東大阪市経営企画部資産経営室）高橋 伸吾

去る平成 26 年 1 月 31 日、大阪樟蔭女子大学及び大阪府市町村営繕主務者会議建築分科会 FM 部会との共催により、平成 25 年度第 2 回自治体等 FM 連絡会議大阪府地域会を開催しました。前回に引き続き、開催場所は大阪樟蔭女子大学円形ホールをご提供頂き、大阪府内から 29 自治体 81 名、大阪府外から 22 自治体 42 名、建築保全センターから 3 名、大学関係者 2 名、合計 128 名の参加を頂きました。また、会場設営等お手伝い頂きました大阪樟蔭女子大学の学生の皆様にも参加頂きました。

会議では、4 名の講演を頂いた後、パネルディスカッションを行いました。

講演では、まず、武蔵野市財務部施設課の伊藤賢二氏より「武蔵野市における FM の取組み」を、次に、浜松市財務部資産経営課の松野英男氏より「自治体経営と公共施設マネジメント～資産経営の推進と今後の発展性～」を、三番目に、前橋工科大学工学部建築学科准教授の堤洋樹氏他 5 名より「自治体と大学の共同研究について」を、最後に建築保全センターの池澤龍三氏より「自治体における FM セルフチェッカー入口戦略／出口戦略」をお話いただきました。伊藤氏、松野氏及び池澤氏からは、直接公共 FM に携わってこられた経験を基に、先進的な取組み事例や FM に取組む必要性、取組む上での考え方などをそれぞれの視点からお話を頂きました。また、堤准教授他 5 名の皆様からは、施設白書の標準化や、自治体との実際の共同研究例についてお話を頂きました。

講演後、大阪樟蔭女子大学教授の辻壽一氏のコーディネートにより、参加者からの質問に答える形でのパネルディスカッションを行い、4 名の貴重な経験や FM に対する想いをお聞かせ頂きました。

最後に、元池田市職員の建築保全センターの前田修氏よりご挨拶を頂いて、閉会となりました。

また、地域会終了後、大阪樟蔭女子大学学生食堂にて交流会を開催し、ご講演頂いた方々も含め総勢 59 名の参加を頂き、FM 担当者同士の意見交換や交流を図ることが出来ました。

大阪府地域会は今回が 2 回目の開催となり、東は関東地方から、西は中国・四国地方まで、前回以上の方々の参加を得ましたこと、皆様には厚く御礼申し上げます。来年度第 1 回の大阪府地域会は平成 26 年 7 月 4 日（金）に開催する予定です。今後も、自治体等の FM 関係者が一堂に集い、先進事例を学びながら、情報の交換や交流を行い、自治体等の相互の連絡機能の強化を図り、各々の FM の推進を図るため、大阪府地域会を開催したいと考えております。皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

